

1. 意見

別紙で FAX した。

意見書

最近の暖冬の現状を見はじめ、気候に対する認識がかわってきているようです。テレビでも環境問題がいろいろな形で取り上げられています。これが一過性の話題に終わらないようにしたいものです。目の前に現象を突きつけられてから気づいても遅いことがたくさんあり、環境、気候については特にそうだと思います。

100年に一度の洪水とか、旱魃などといわれてられないほど、最近の天候は局所的、あるいは長期的な、偏りがあります。下川においても、昨年はサ川の増水で堤防の水位が高くなり、道道は通行止め、畑が内水の氾濫で冠水したりなどの被害が出ました。農作物に対しての被害に、一般のかたはあまり関心がありませんが、農家にすると、収入が減ることでもあります。なにより、精魂こめた作物がだめになる精神的なダメージは大きなものがあります。魚も大事です、自然も大事です、しかし、これからは局所的な自然ではなく、大きな目で見た環境を守るようにしなければならぬ時代だと思います。

三津橋 菜実